

# Newsletter

October 1  
 2016  
 Vol.38



青空に映えるタルトゥ大学本部の建物

## チャットルーム 2016 ~ネイティブ・スピーカーと話しませんか？

国際交流センターでは、興味のある外国語を実際にアウトプットすることを目的として、2015年度より「チャットルーム」を開催しています。英語や中国語、韓国語など、少人数のグループに分かれてトピックに沿ったテーマトークをすることで、留学生を交えて、または日本人同士で「外国語で話す」楽しさを実感するためのイベントです。



日常生活の中で、外国語を使う機会がなかなかなく、物足りない思いをしている方、このイベントではお互い恥じらいを捨てて、「外国語で伝える難しさ」「伝わる喜び」などを味わいませんか？ 毎月1回程度\*定期開催していますので、奮ってご参加ください（\*長期休業期間・試験期間を除く）。

- ☆日頃の勉強の成果をアウトプットしましょう。
- ☆少人数のグループに分かれて行きます。会話のチャンスはたっぷり！（会話のきっかけとなるトピックは用意します）
- ☆語学力は問いません。予約不要・飲食自由。ランチタイムも有効に使えます。
- ☆国際交流センター（中央教育研究棟2階）内で実施。各回のテーマ、詳細はG-PortやFacebookでお知らせします。

**2016年度の開催予定**（開催時間は原則、12:20~14:30）  
 6月17日（金）・7月8日（金）・9月28日（水）・10月20日（木）  
 （留学フェア内）・11月22日（火）・12月13日（火）

### 〈夏季〉短期ホームステイプログラム ※学習院国際交流基金助成事業

長期休業期間中、本学留学生に対して、日本人学生の家庭に1泊~7泊のホームステイ体験を提供するプログラムを実施しています。今回は、延べ10組の留学生および日本人家庭が本プログラムに参加しました。ホストファミリーと参加留学生へのインタビューの一部をご紹介します（ホストファミリーは、「国際交流センターボランティア」の活動のひとつとして、協力を募っています）。

次回は、冬・春季休業期間中に実施予定です。興味を持っていただいた方、次回募集をお待ちください！（ホームページや掲示板でお知らせします）



感想は2面へ➡

## 夏季語学研修報告 （エストニア・イギリス・韓国・国内） ~新規協定校にて、第1回夏季語学研修を実施

今年度の夏季休業期間は一覧表のとおり、エストニアを含む4研修施設で語学研修をそれぞれ実施し、のべ80名の学生が参加しました。本号では、2016年度に新規に大学間協定を締結した北欧・エストニアのタルトゥ大学（\*大学の詳細は3面）での夏季語学研修の様子を紹介します！



同大学は、非英語圏でありながら国全体として高い英語力を擁していることで知られているエストニアにあり、平成28年8月、本学と大学間協定を締結しました。教師の目がよく届き、発言の機会に恵まれ、贅沢な少人数授業を享受できたようです。研修期間中、同大学のキャンパスがあるタリン市及びタルトゥ市の2都市にて、英語研修とホームステイを経験しました。なお、初めての研修先かつ新規協定校であるため、本学国際社会科学部の星明男准教授（当センター運営委員）が一部期間同行して、表敬訪問ならびに授業参観、宿舎の見学、現地の治安等を確認しました。

タルトゥ大学では、短期研修だけでなく、新たに『平成29（2017）年度第2期協定留学プログラム』（詳細は4面に掲載）の派遣学生募集も開始します。「英語留学」の機会は世界中に広がっています！

	研修先	参加者	研修期間	滞在方法	主な研修内容
英語	タルトゥ大学（エストニア）	6名	8月21日~9月11日	ホームステイ	英語研修、北欧文化の体験、2都市でのホームステイによる異文化交流等（詳しくは本文中で紹介）
	ヨーク大学（イギリス）	29名	8月5日~8月27日	ホームステイ	Oral Communicationに特化した英語レッスン、ホームステイで異文化交流、現地学生メンターとの交流等
	ブリティッシュヒルズ（福島県） 【尚友倶楽部助成金事業】	30名	8月30日~9月1日	学生寮	英国文化を再現した施設でのネイティブ講師による英語レッスン、異文化体験プログラムへの参加等
韓国語	東国大学校（韓国）	15名	8月7日~8月20日	学生寮	語学能力別韓国語授業、近郊旅行や放送局見学、キムチ作りなどの文化体験、パティとの交流等

### ○参加学生代表よりメッセージ

今しか出来ないことをしようと「エストニア英語研修」への参加を決めました。日本人には認知度が低いですが、小国であるものの歴史が深く、日本人にも馴染みやすい素敵な国です。1~4年生の参加者6名で臨んだこの研修は、今回が初めてとのこともあり、関係各所の心配をよそに、とても充実した有意義な経験となりました。現地の人々の英語も、EU圏であることからとても聞き取りやすく、おすすめです。少しでも気になった方は是非、短期・長期の留学にチャレンジしてみてください！（政治学科4年 飯塚 瑛子さん）

## ホストファミリーをしてくれた日本人学生から～短期ホームステイプログラム

### Q. ホームステイ期間中、一番楽しかったことは？

- ・富士山に登った際、外国人観光客が多く、彼らの会話を留学生が訳してくれて興味深かった。
- ・何もかも新鮮で面白くて、家族と集まって夕食を食べるだけでも、すべてが最高に楽しかった。
- ・留学生の国の慣習や社会情勢など、思いもよらない話をたくさん聞けたり、日本食に果敢に挑戦してくれたりしたことが楽しかった。

### Q. 興味がある学生へメッセージをいただけますか？

- ・相手の立場に立って考えることがとても大切。あまり気負わずに、他の国のお友達に喜んでもらえるよう、寛いでいただけるようにおもてなしすることが役目。日本留学中になかなか味わうことができない家族の温かさを、家族団欒を通して留学生に感じてもらえれば良いと思う。

- ・ホストファミリー体験の良さは、お互いの国についてより知ることができること。例えば、お互いの国の料理を一緒に作ることで、お互いの国をさらに好きになれたと思う。とても貴重で楽しい体験だった。
- ・改めて日本の文化や歴史についても知ることができた。マイナスな部分が多くなってプラスの経験ばかりだった。もし、ホストファミリーになるか悩んでいるなら、勇気を出して応募してみよう！
- ・緊張せずに、体験したいこと・させたいことを相互で共有して、留学生にも日本人にも沢山ホームステイを経験して欲しい。
- ・最初はホストが務まるかどうか不安だったが、国際交流センターでサポートしてもらったり、留学生もとても日本や日本語に興味を持って積極的に話してくれたりして、すごく仲良くなった。

## 夏季日本語研修プログラム（8月17日～26日）※学習院国際交流基金助成事業

アジア・オセアニア圏の協定校からの留学生を受け入れて、今年で4年目の本プログラムは、豊島区の共催も得て、日本語日本文学科の村野教授と本学卒業の日本語講師や日本語教育を専門とする大学院生が中心となり、さまざまな文化学習プログラムを提供するものです。実施にあ

たり、多数の日本人ボランティアの協力も大きな力になり、学習面・生活面のサポートをしてくれました。

プログラムは講義のほかに、目白庭園での茶道・着付け体験や、俳句作り、グループ単位での都内フィールドトリップとその発表会など、参加者が楽しみながら日本文化や日本語を学べる内容が盛りだくさんでした。

最終日、修了証を受け取り、日本語で堂々とスピーチする留学生たちの表情は、達成感と充実感に満ちており、講師やボランティア学生との別れを惜しみつつ、再会を誓っていました。



### ○本研修に参加した留学生の所属大学（いずれも本学協定校）

- 韓国：東国大学校・高麗大学校・慶北大学校  
ソウル市立大学校
- 中国：北京大学・北京外国語大学
- タイ：アサンブション大学
- オーストラリア：マードック大学
- ニュージーランド：ウェリントン・ヴィクトリア大学

### ○参加した日本人ボランティアの感想

- ・一生懸命日本語の勉強をする留学生に勇気と希望をもらえました。私が当たり前だと思っていることに、目を丸くして驚いてくれる留学生と過ごした1週間は最高の思い出です。また「世界の中の日本、日本人としての自分」を改めて考え直すきっかけになりました。皆さんにも是非、ボランティアへの参加をオススメします。（政治学科3年 針金屋 裕紀さん）
- ・幼い頃から英会話や茶道を学んできて、日本の伝統文化を外国人に伝え、日本と外国の架け橋になることが長年の夢であったので、それを今回実現することができて、とても嬉しく、貴重な経験となりました。（経済学科2年 小熊 江里花さん）

## 留学生のためのイベント（平成28年度1学期）

### ■4月4日 新入学留学生の歓迎会

今年4月に入学した留学生を歓迎し、新入学留学生（私費）および4月受入協定留学生対象オリエンテーションの当日、歓迎会を開催しました。



### ■5月15日 留学生春のバス旅行

群馬県高崎市・富岡市方面への留学生バス旅行を実施しました。43名の留学生が参加して、「高崎だるま®」の絵付け体験と2014年に世界遺産に登録された「富岡製糸場」の見学を行いました。日本の伝統工芸に触れて職人さんの技術に驚き、感動したり、また、明治時代当時の建物や写真・記録を熱心に鑑賞したり、それぞれが日本への理解を深める貴重な機会となりました。



### ◆6月11日 留学生歌舞伎鑑賞教室【霞会館教育助成金事業】

学生が日本の伝統文化芸能に触れる機会として、歌舞伎鑑賞教室を実施しました。今年の演目は、「新血屋鋪 月雨傘（しんさらやしき つきのあまがさ）一魚屋宗五郎（さかなやそうごろう）一」でした。

### ■7月29日 協定留学生のフェアウェルパーティ

今年の1学期で留学を終了した協定留学生13名の送別のためのフェアウェルパーティを実施しました。留学生だけではなく、彼らの留学生生活をサポートしてくれたパディメンバーや日ごろ交流のある日本人学生、派遣予定学生等が集い、日本語担当の小林先生からはなむけの言葉をいただいたり、国際交流センター課長からの修了証を受け取って一人ずつ挨拶をしてくれたり、賑やかなひと時となりました。



## 海外協定校と協定留学プログラムによる留学生・派遣学生

■新たに交流協定を締結しました。※最新の協定校一覧は、センターホームページでご確認いただけます。

### ○タルトゥ大学（エストニア）

University of Tartu



東欧・北欧最古の大学の一つ。オックスフォード、ケンブリッジ、ハイデルベルグなどと並んで、全欧州で38大学しかないコインブラ・グループ(Coimbra Group、古蒙大学)のひとつとして認定されており、また、QS World University Rankings 2015/16では、top 3%にランクされている。

留学生受け入れを重視し、27カ国71の大学と協定を締結している。英語で受講できるカリキュラムを提供し、更なる国際化を推進している他、Language Centreも有しており、21もの言語を学ぶことが出来るだけでなく、他大学や企業からの要望に応じて語学研修プログラムを実施するなど、言語教育にも注力している。

創立：1632年

所在地：エストニア タルトゥ

学生数：13,400人

学部：Arts and Humanities, Social Sciences, Medicine, Science and Technology

### ○国立交通大学（台湾）

National Chiao Tung University



人文・社会科学の分野を含む総合大学として、9学部14,000人の学生を有する台湾のトップレベルの大学である。中でも、電気工学・情報工学の分野では、台湾で最も多くの博士を輩出しており、多くの卒業生が台湾の産業界において活躍している。国際交流も盛んで、約60カ国・地域から600名以上の外国人留学生在が学んでおり、近い将来、外国人留学生の人数が、全学生数の1割に達すると見込んでいる。世界310以上の大学等と学生交換や共同研究を目的とした協定を締結している。

創立：1958年

所在地：台湾 新竹市

学生数：14,000人

学部：College of Science, Electrical and Computer Engineering, Computer Science, Engineering, Management, Humanity and Social Science, Biological Science and Technology, Hakka Studies, Photonics

## ■海外協定校からの留学生をご紹介します！

(留学期間：平成28(2016)年9月～)

氏名 (パスポート表記)	カナ (姓名)	在籍校	留学期間	受入学科・専攻
周 芷薇	(シュウ シーユウ)	香港中文大学 (中国・香港)	1年周	日本語日本文学科
李 嘉實	(リ カホ)		1年周	日本語日本文学科
陳 雅文	(チン ガブン)	東呉大学 (台湾)	1学期周	日本語日本文学科
呂 亭葳	(ロ テイイ)		1学期周	日本語日本文学科
王家鴻	(オウ カコウ)		1学期周	法学科
BOONSOY, KANITTHA	(ブンソイ カニッター)	アサンプション大学 (タイ)	1年周	経営学科
JULJOEM, THANJIRA	(ジュンジャン タンチャー)		1年周	経営学科
FERGUSON, GLENN JOHN	(ファーガソン グレン ジョン)	エディンバラ大学 (イギリス)	1年周	日本語日本文学科
ANDREOUS, DAYNA BETTINA	(アンドレアス ディナ ベッティナ)	イーストアングリア大学 (イギリス)	1年周	日本語日本文学科
FLOERKE, MAXIMILIAN	(フラーケ マクシミリアン)	マンハイム大学 (ドイツ)	1学期周	経営学科
OEFELE, LISA FRANZISKA	(エッフェレ リサ フランシスカ)	パイロイト大学 (ドイツ)	1学期周	生命科学科
DUPORGE, ALICE MARIE ANDREE	(デュポルジュ アリス マリー アンドレ)	パリ第七大学 (フランス)	1学期周	政治学専攻
LAROQUE, CYRIELLE SVETLANA ALICE MARIE	(ラロク シリエル スベトラナ アリス マリ)		1年周	日本語日本文学科
ESPOSITO, CHIARA	(エスポジト キャラ)	国立ナポリ東洋大学 (イタリア)	1年周	日本語日本文学科
THORARINSSON, MATTHIAS ENOK	(ソラリンソン マティアス エノク)	アイスランド大学 (アイスランド)	1年周	日本語日本文学科
DIAS DA SILVA, MARCELO	(ジァス ダシルバ マーシェロ)		1学期周	日本語日本文学科

## ■本学からの第2期派遣学生をご紹介します！

(留学期間：平成28(2016)年10月～翌年9月)

派遣先大学	所属	派遣学生
復旦大学(中国)	経済学科	杉本 聖佳
北京外国語大学(中国)	英語英米文化学科	藤本 弾
ノースカロライナ州立大学シャーロット校(アメリカ)	法学科	尾崎 まりあ
イーストアングリア大学(イギリス)	政治学科	小山 晏奈
	政治学科	加藤 亜梨沙
エディンバラ大学(イギリス)	政治学科	尾野 愛実
オックスフォード・ブルックス大学(イギリス)	政治学科	濱田 莉沙
パイロイト大学(ドイツ)	ドイツ語圏文化学科	上田 楓
	法学科	前野 千晶
マンハイム大学(ドイツ)	経営学科	松山 嘉克
ザルツブルク大学(オーストリア)	ドイツ語圏文化学科	村山 友紀
パリ第七大学(フランス)	フランス語圏文化学科	降旗 萌
リヨン第二大学(フランス)	フランス語圏文化学科	小林 和司
	フランス語圏文化学科	田沼 未帆
リヨン政治学院(フランス)	フランス語圏文化学科	中村 美香
ポロニヤ大学(イタリア)	史学科	亀崎 洋太

### ○平成27年度第2期協定留学プログラム派遣学生より

私は自身のドイツ近代史の研究及び語学力強化を目標とし、ドイツのパイロイト大学への1年間の協定留学プログラムに参加しました。言語や文化の違いという壁に日々ぶつかりながら、試行錯誤の中で過ごした1年間であったと感じています。留学には多様な形がありますが、それを自分にとって有意義なものとするのに重要なのは「目標に向かって、いかに自分に厳しくなるか」という点です。これは勉強・課外活動等あらゆる場面で言えることですが、目標達成を目指し、努力を惜しまない姿勢をどれだけ貫き通せたかという経験は、必ず自分にとってかけがえのない財産となります。またそうした人の周りには似たような、互いを高め合うことの出来る人が集まるでしょう。この体験が、私が今回の留学を通して得た最大の収穫です。これから留学を考える皆さん、「留学とは、それ自身が目標としては成り得ず、それを通して自らを高めるものだ」ということを、ぜひ覚えておいてください。

(文学部史学科4年 佐藤 駿太郎さん)



## 平成 28 年度第 2 学期以降の募集・お知らせ

### ■平成 28 (2016) 年度春季語学研修の実施について

海外協定校で以下の 2 つを予定しています。長期留学の準備や、海外未経験の方も、短期研修から参加してみませんか？ 募集時期や日程の詳細は、センターホームページ、G-Port 及び掲示で公示しています。

	研修先	募集人数	日程 (渡航期間)
英語	エディンバラ大学 (イギリス)	28 名以内	2月5日(日)～2月26日(日)
中国語	淡江大学 (台湾)	15 名以内	3月5日(日)～3月18日(土)

### ■留学フェア開催のお知らせ

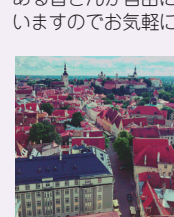
国際交流センターでは、年 2 回 (第 1 回は 6 月中旬、第 2 回は 10 月下旬)、

留学や国際交流に関心がある学生が気軽に話を聞き、相談が出来るよう、「留学フェア」を開催しています。

フェア期間中はお昼休みと 3 限の時間を利用して、留学経験者による留学報告会や個別相談、本学協定校からの留学生による協定校紹介、様々な言語で話す「チャットルーム」など、日替わりのプログラムを用意しています。留学に興味のある皆さんが自由に参加できる催しとなっていますのでお気軽に、多くの皆さんのお越しをお待ちしています。



平成 28 年度第 1 回留学フェアの様子



エストニア・タリン歴史地区 (旧市街)

開催情報は、当センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示します。過去の開催の様子も、facebook などでご覧いただけます。

### ■平成 29 (2017) 年度

#### 第 2 期協定留学プログラム派遣学生募集

本年度 10 月中旬より、平成 29 (2017) 年度第 2 期協定留学プログラム (留学期間: 2017 年 10 月～翌年 9 月 / 派遣先: アジア・ヨーロッパ・北米他) の募集を行います。募集要項は国際交流センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示しますので、確認してください。

なお、本プログラムで留学した先輩方の報告書をセンター内で閲覧することができます。センターのホームページでも報告書を公開しておりますので、ぜひご利用ください。

(<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/abroad/messagefromsenior.html> 「留学した先輩からのメッセージ」をご確認ください)

#### ■海外留学のための奨学金制度について

本学では、留学費用の軽減を図り、できるだけ多くの皆さんが留学等のチャンスを得ることができるよう、さまざまな制度を設けています。各制度の詳細・募集要項は、いずれも掲示や国際交流センターホームページ、G-Port により確認してください (独自の奨学金を設けている学部・研究科もあります。詳細は、所属の学部学科事務室にお問い合わせください)。

※①～⑥の採用予定数は、平成 28 年度中のもので、次年度以降は変更の可能性がります。

#### ①学習院大学海外留学奨学金 (平成 28 年度分は募集終了)

海外留学者増に対応するよう、採用予定数増の予定です (平成 29 年度以降)。

応募条件	・「留学願」が承認されている者又は承認されることが見込まれる者 (「休学」による渡航は不可) ・成績評価係数が 2.3 以上の者 ・語学能力試験を受験して結果が出ている者
奨学金額	1 名につき 30 万円以内 (給付)
採用予定数	年間 40 名程度
募集時期	年 2 回 (第 1 回 12 月、第 2 回 6 月)

平成 29 年度に留学を開始する方を対象とした第 1 回目募集 (12 月) については、募集要項を 11 月にセンターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示します。

#### ②学習院大学春季語学研修奨学金

応募条件	本奨学金対象の国際交流センター主催春季語学研修に参加する者
奨学金額	1 名につき 7 万円以内 (給付)
採用予定数	15 名程度 ※平成 28 年度
募集時期	年 1 回 (3 月)

#### ③学習院大学語学能力試験受験の助成

英語圏以外への留学希望者にも枠を拡げ、他外国語の能力試験も助成対象としました。

応募条件	留学に必要な語学能力試験を受験した者
奨学金額	1 名につき 1 万円以内 (給付)
採用予定数	年間 50 名程度
募集時期	年 2 回 (6 月および 12 月)

#### ④大学院学生の国外における研究発表奨励

応募条件	国外で開催される研究会等で発表を行う大学院生 (共同発表を含む)
奨学金額	1 名につき 10 万円以内 (給付)
採用予定数	年間 20 名程度
募集時期	年 1 回 (12 月)

#### ⑤学習院大学海外短期語学研修奨学金 (平成 28 年度分は募集終了)

応募条件	夏季休業中に海外において 3 週間以上の語学研修に参加する者
奨学金額	1 名につき 10 万円以内 (給付)
採用予定数	年間 40 名程度 ※平成 28 年度
募集時期	年 1 回 (9 月下旬) ※夏季休業開始前に募集要項を公示

# News Letter

October 1 2016 Vol.38

発行日 / 2016 年 10 月 1 日

編集・発行 / 学習院大学国際交流センター

〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1  
TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025  
<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/global/>  
(「学習院 CIE」などで検索してもヒットします)  
<https://www.facebook.com/cie.gakushuin.ac.jp>

※掲載された学生の学科は、平成 28 年時点のもので

#### 【編集後記】

1 面で特集したタルトウ大学短期語学研修に参加した学生の感想の続きを、ここで紹介します。「英語が第一言語でない国で英語研修を受けること」は、とても意義のあることだと思っています。というのも、英語が第一言語でないものの英語が通じる国の多くは、複雑な歴史や文化を持っているためです。日本は侵略された過去がほとんどなく、これは世界の中では稀な例です。実際に、エストニアをはじめとするバルト三国はソビエト連邦をはじめ多くの国に占領されていたことから、街中では複数の国の文化や歴史を感じることができます。「研修の目的は、語学だけではなく文化の理解にもある」と考える方は是非、英語が第一言語でない国への研修を考えてみてほしいと思います。

外国語のブラッシュアップ、外国人学生との交流、短期、中長期の留学...など、学内から世界へ、国際交流のチャンスや留学のカタチ、選択肢は限りなく広がっています。本学学生の経験を励みに、皆さんも未知の世界や文化へ一歩踏み込んで、新たな挑戦への期待や、乗り越える達成感を味わいませんか？

#### 【平成 28 年度国際交流センター運営委員】

所長	秋山隆彦 (理学部)	運営委員	星 明男 (国際社会科学部)
運営委員	村主道美 (法学部)		荒川一郎 (副学長)
	森田道也 (経済学部)		小島修一 (学生センター所長)
	金田智子 (文学部)		宮澤文玄 (国際交流センター課長)
	稲熊宜之 (理学部)		